

# 公共施設の再編に関する意見交換会 概 要 報 告

日 時	平成30年11月15日(木)18時30分～20時00分																								
場 所	三関地区センター(サンチェリー湯沢) 多目的ホール(講堂)																								
対 象 地 区	山田地区、三関地区、須川地区、高松地区																								
参 加 者	17 人																								
	内 訳	計			20代			30代			40代			50代			60代			70代			80代		
		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
	山田地区	4	4	0	0			0			1	1		0			1	1		2	2		0		
	三関地区	8	7	1	0			0			0			0			3	3		5	4	1	0		
	須川地区	3	3	0	0			0			0			0			3	3		0			0		
	高松地区	1	1	0	0			0			0			0			1	1		0			0		
	そ の 他	1	1	0	1	1		0			0			0			0			0			0		
	計	17	16	1	1	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	8	8	0	7	6	1	0	0	0
市 出 席 者	湯沢市公共施設アドバイザー、 総務部長、企画課長、企画政策班長、担当																								

## 概 要

開 会																				
あ い さ つ	総務部長																			
説 明																				
	<p>&lt;テーマ:集会施設&gt;(企画課)</p> <p>① 集会施設の現状と課題</p> <p>② 市民討議会の意見概要</p> <p>③ 個別施設の方向性(検討案)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>																			

情報提供

集会系施設のあり方を考える（湯沢市公共施設アドバイザー 川嶋幸夫氏）



質疑応答、  
意見交換



・市の方針は理解した。地区センターを利用したコミュニティビジネスは、理想的だが具体的に動いているものがないので現実性がない。市の具体的な支援方法を示してもらいたい。

⇒（アドバイザー）他市の事例では、指定管理料の他に地域計画に沿った活動について一定の補助金を交付している。これから制度設計していくなかで、地域の皆さんが自分たちで何をやっていいのかが相談しながら進めていかなければならない。ただし、市としてもサポート役を派遣するなど、地域で必要としていることを皆さんと一緒に探し出して2年間位の時間をかけてプランを作ることが出発点だと思う。すぐに動き出すのは困難だが、何年かかけて動き出すことができれば地区センターは指定管理のもとに自主的な活動をしてもらう場として、活用されたいと考える。

・既に指定管理を導入している施設で事務局に地域外の人を雇用している施設があると聞いたが、そのような体制でよいのか。また、人口減もあり地域で指定管理を受けるのは難しいと思う。

⇒（アドバイザー）指定管理の施設で事務局体制として、地域の人々が地域の中から雇用するのが一般的であるが、管理運営に長けた人など外部の人材を一時的に雇用することがあってもよいと思う。将来的には地域の人々がマネジメントできる形になることが望ましい姿であると思う。市が地域に一方的に手放すのではなく、行政と市民の役割のなかでより良い建物にしようとするのが今回提案した趣旨である。既に指定管理者制度を導入している施設の良い所、悪い所を分析して、一番良い方法を皆さんで考えていただければと思う。

・三関コミュニティセンターについて、廃止となっているが解体するのか、解体する場合はいつなのか、具体的に決まっていることはあるか。

⇒(市)これまでも所管課である生涯学習課が地域の皆様と協議を行ってきた施設であり、先般一定の結論を得たと聞いている。コミュニティセンターとしての用途は廃止し、建物については耐用年数を過ぎていることから、他用途への転用も行わないが、解体時期については、現時点では決定していない。

⇒(アドバイザー)一般的に今までの役割を終えた施設は、市として他の用途で利用するかどうかを検討する。全庁的に調査したうえで、利用する見込みが無い施設は、処分について検討する。処分については、民間へ売り払う方法もあるが、地域の皆さんに譲渡するという方法もある。今日示した方向性はおおまかなもので、具体的な内容は記載していないが、どの方法がよいのかは、皆さんと一緒に考えていければと思う。

・地区センターは、コミュニティの機能もあるが、市の会議や健康診断など様々な催しを行っている施設である。地域が指定管理を受けた場合、地域が好きなように行事を組み立てて、自由に使い、利用率を上げるなどは到底無理ではないか。地域コミュニティと、市の施設としての境界が良く分からない。また、これまでも自治組織の活動は継続的に行っているが、定年も延長し、動ける人材が見つからなくなるなかで、これから指定管理を導入すると言っても難しいと思う。現在も、地区センター職員に頼って地域活動を継続している状態である。

⇒(アドバイザー)例えば健康診断など市のスケジュールは大体年度当初に決まっている。次に地域の皆さん、それ以外の皆さんと段階的に埋めていけば、できるだけ多くの方が利用できるのではないかと。また、指定管理になった場合は、市からやってほしい内容を提示されるので、それを定期的に行うなどしてスケジュールを埋めていくことになる。館の使い勝手については、それほど心配することはないのではないかと。ただし、管理運営を賄える人材がいるかどうかが一番の課題である。新たに地区センターを所管することとなる協働事業推進課は、将来の指定管理に向けての人材育成も大きな課題として考えなければならない。湯沢市全体の公共施設の管理をマネジメントできるような人材をどう育てていくのか、施設の中でどのような事業を行っていけばよいのか、地域の課題の発見とそれに対してどのように取り組んでいけばよいのかを考え、また地域のコーディネーター役を育てていくことが市の大きな役割となる。人材の育成、お金の支援、ノウハウの提供など、市がやるべきことがたくさんあるが、そういったことをしっかりと描いたうえで、地域の皆さんに施設の管理をお願いすることをしないと、一方的に押し付けられたと捉えられてしまう。今日お示した内容を計画として策定を進めていく数年間のうちに、人材育成についても進めていくことが重要となる。

・指定管理について、地域で協議したことがないので、具体的に決まれば話し合って検討していきたい。

⇒(アドバイザー)今日は、市の現段階の考えを示させていただいた。初めて聞いた内容も多いと思うが、地域の皆さんが集まる機会に市に説明の場を求めてもよいと思うし、今日が出発点と思っていただきたい。

・キッズステーションにかかわっているが、三関は放課後児童クラブが無いため利用人数が多く、本当に必要な場所だと思う。専門的な知識は無いものの見守り立場としてサポートしているが、今後も地域の子どもは地域で見守るということは重要なので、市としても同じ意識で考えてもらいたい。

⇒(市)三関、須川、高松地区はキッズステーションはあるが放課後児童クラブが無い状態である。保護者からも要望があり、他地域の放課後児童クラブへ通っている方もいると聞いている。市としては、放課後児童クラブの未設置学区の解消を喫緊の課題として捉えており、庁内で検討しているところである。これからも地域の子どもたちが安全に放課後を過ごせるような環境づくりを努めてまいりたい。

⇒(アドバイザー)地域の見守り活動という意味で、地域の子どもたちを地域の人を守ることに、高齢者の安否確認は、地域課題の重要な項目である。地域の課題解決の一つとして地域の皆さんで協力して取り組むということもあっていいと思う。他市でも、放課後児童クラブはあるが、地区センターの機能として地域住民による子どもの見守りをしている例がある。



	概 要
	<p>・地区センターの職員は市で雇用しているのか。指定管理の場合の職員は誰に雇用されているのか。今現在、非常勤職員で行っている施設も将来的には指定管理に移行する考えなのか。</p> <p>⇒(市)地区センターの職員は、市で直接雇用しているが、選定については各地域の自治組織からの推薦により決定したものである。指定管理の場合は、指定管理を受けた団体や法人が雇用主となるため、市では関与していない。地区センターについては、将来的には地域の自治組織の皆様指定管理を受けていただきたいと考えている。そのための環境づくりについて、地域の皆様と話し合いながら進めていきたい。</p> <p>(アドバイザー)</p> <p>個々の施設の方向性について結論は先のことであるが、今日市から提案した内容については、概ね御理解いただけたものと捉えてよい。大きな方向性がまとまって、個別の協議になる際は、別途機会を設け、地域の皆さんと話し合っていくこととなる。また、地域経営の仕組みについても、担当課はよく考えて、地域の皆さんと一緒に地域づくりを進めていくことを前提に、この公共施設の方向性で向かっていくこととしたい。</p>
閉 会	20時00分終了